

経済倶楽部便り

◆東京◆ 毎号掲載している経済倶楽部便りですが、スタートは戦前の昭和16年の15集からで、当時の名称は「中央事務局理事室から」でした。その冒頭は「別々ではあるけれど、縁につなが

る倶楽部も全国で二十一、会員もかれこれ一万人、質といい、数といい、今更ながら、大きくなったと感嘆致します」とあります。スマホはもちろんテレビもない時代だけに、一万人という会員数はかなりの影響力を持つていたと想像されます。振り返って情報が氾濫する現代ですが、今年もメディアで得られない情報を提供できる講演会を企画出来たらと思います。

新会員をご紹介します。11月は医療法人彰志会理事長の十河章様です。

2月の講師は国際環境経済研究所理事の竹内純子氏、防衛省防衛研究所主任研究官で石橋湛山賞受賞者の千々和泰明氏、大正大学地域構想研究所教授の小峰隆夫氏、愛媛大学大学院抗加齢医学講座教授の伊賀瀬道也氏です。

◆中部◆ 12月の講師の一人は経済ストラテジストの市川眞一氏でした。仕事の関係でヨーロッパに行かれたと。ロシア上空は飛ばず、アラスカ上空から北極圏を経由したため時間も料金も負担増になったとか。また、スイス南部の山に雪がまったくなく温暖化を実感したそうです。

2月の講師は現代中国研究家の津上俊哉氏、軍事アナリストの小川和久氏です。(日暮良一)